

## 第2回 肺の生活習慣病 **—COPD—**

2015年11月19日(木) 18:00～19:30 信州大学松本キャンパス旭総合研究棟 講義室A・B

1. COPDの日本語名は「慢性閉塞性肺疾患」です。

2. 日本人の75%はCOPDという名前を知らず、認知率が低い疾患です。

3. COPDは年々増えていますが、見逃されている症例も多くあります。

4. 40歳以上の日本人の8.6%、約530万人がCOPDに罹患していると言われています。

5. COPDの最大の原因は喫煙ですが、PM2.5など大気汚染も無視できません。

6. COPDの症状は慢性的な息切れ、咳、痰です。

7. COPDは「気流閉塞」という気管支の空気の通りにくさを特徴とします。

8. COPDの診断には呼吸機能検査(スパイロメトリー)が必要です。

9. COPDの治療薬の主体は「長時間作用性気管支拡張薬」です。

10. COPDが重症化すると常に酸素を吸入する必要があります(在宅酸素療法)。